



2020年1月23日

**“義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり”  
今年で28年目！「バレンタイン・チャリティ募金」を実施**  
義理チョコの代わりに、西アフリカの子供たちの未来を応援！

共栄火災海上保険株式会社(本社:東京都港区新橋1-18-6、社長:助川 龍二)が国際貢献活動の一環として始めた西アフリカ・マリ共和国の難民支援を目的とした「バレンタイン・チャリティ募金」の活動が、1993年のスタートから今年で28年目を迎えます。

この活動は、職場の儀礼的な義理チョコの配布を「もっと有意義な目的に使えないか」と考えた女性社員の発案によって始まった自発的な募金活動で、バレンタインデーの義理チョコやホワイトデーのお返しにかかる費用の一部を自粛して1口500円を募金しようという活動です。まさに“義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり”で国際貢献というものです。

今年も、“ALL FOR ONE！(みんながひとつの目的のために)”を合言葉に、以下の日程で募金活動を実施します。

- 実施期間: 2020年1月24日(金)～2月14日(金)
- 対象: 全国の共栄火災社員、関連会社社員



職場で募金を呼び掛ける女性社員(昨年)

集まった募金は毎年、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」(以下「マザーランド・アカデミー」)を通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプにおける植林費用や医療品購入費用、水田拡張事業などに活用されています。今年の募金活動は、昨年に引き続きマザーランド・アカデミーがマリ共和国のサハラ砂漠南端地域にある難民キャンプで取り組む水田づくりに役立ててもらう予定です。

この活動は1993年に開始されて以来途絶えることなく続けられ、今年で28年目を迎えます。今ではすっかり社内に定着し、「社会貢献になるうえに、義理チョコの準備やホワイトデーのお返

しに悩むことから解放される」と多くの社員が積極的に参加しています。



水田づくりの様子(マリ共和国) ※写真提供: マザーランド・アカデミー

### 共栄火災の国際貢献活動

当社の国際貢献活動は、1992年、創立50周年記念事業の一環として女性社員の制服をリニューアルし、廃棄する予定としていた古い制服7,000着(段ボール300箱分)を西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプに寄贈したのが始まりです。自分たちが慣れ親しんだ制服を着た子供たちの写真を見て感激した多くの女性社員が「こうしたことで役に立つのなら、他にも何かできることがないだろうか」と考え、女性社員有志により自発的に「ボランティア推進チーム」が結成されました。

そして、ボランティア推進チームの発案から、バレンタインデーの義理チョコとホワイトデーのお返しを、もっと有意義な目的に使おうと、1993年に「バレンタイン・チャリティ募金」が生まれました。

当社では「バレンタイン・チャリティ募金」のほかに、毎年12月に衣類や薬、文房具、おもちゃなどの物資による支援を目的とした「クリスマス・チャリティ」を実施しており、両活動を当社の国際貢献活動の2本柱として今後も積極的に取り組んでまいります。

### 「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」について

「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」は、命の等しさ尊さを子供たちに伝える過程が「教育」そのものだと考えた母親たちが、家でも学校でも地球上のどこにいても、当たり前に行動に移せる子供を育てることを目指して「命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会」として1982年に活動を開始しました。世界で最も支援が必要であると国連が指定している国々や地域へ確かな支援ルートを持っており、年間約10便(船便)で物資を送っています。

マザーランド・アカデミー・インターナショナル  
＜命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会＞

代表:村上章子 氏

【本部事務局】〒140-0004 東京都品川区南品川5-16-14  
TEL: 03-3450-5829(平日21:00~22:00)/FAX: 03-5461-8929(24時間受付)

■バレンタイン・チャリティの実績(ご参考)

1993年2月	第1回	約201万円を井戸掘りの資金として寄付
1994年2月	第2回	約201万円を学校兼医薬品の保管庫「くすりハウス」の建設資金として寄付
1995年2月	第3回	約112万円を「くすりハウス」の中に入れるランプ、黒板などの備品購入資金として寄付
1996年2月	第4回	約130万円を西アフリカの植林費用として寄付
1997年2月	第5回	約150万円を西アフリカの植林費用として寄付
1998年2月	第6回	約128万円を西アフリカの植林費用として寄付
1999年2月	第7回	約110万円を西アフリカの植林費用として寄付
2000年2月	第8回	約115万円を西アフリカの植林費用として寄付
2001年2月	第9回	約96万円を西アフリカの植林費用として寄付
2002年2月	第10回	約84万円を西アフリカの植林費用として寄付
2003年2月	第11回	約79万円を西アフリカの植林費用として寄付
2004年2月	第12回	約52万円を西アフリカの植林費用および果樹園の造園費用として寄付
2005年2月	第13回	約60万円を西アフリカの植林費用として、約58万円をスマトラ島沖地震災害の救援募金として寄付
2006年2月	第14回	約69万円を西アフリカの植林費用として寄付
2007年2月	第15回	約174万円を西アフリカの植林費用および医薬品購入費用として寄付
2008年2月	第16回	約227万円を学校兼医薬品の保管庫「くすりハウス」の建替資金および医薬品購入費として寄付
2009年2月	第17回	約255万円を西アフリカ地域の水田づくりの費用として寄付
2010年2月	第18回	約150万円を西アフリカの水田づくりの費用として、またハイチ大地震の支援金として寄付
2011年2月	第19回	約180万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2012年2月	第20回	約190万円を西アフリカの水田づくり費用として、また東日本大震災の被災地支援を目的に寄付
2013年2月	第21回	約170万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2014年2月	第22回	約155万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2015年2月	第23回	約164万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2016年2月	第24回	約156万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2017年2月	第25回	約170万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2018年2月	第26回	約185万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2019年2月	第27回	約205万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付

現在までの総合計 約4,016万円